

1 開校準備委員会通信とは

開校準備委員会本部会の意見交換の状況について、各ワーキンググループの意見交換の状況も随時含めながら、「開校準備委員会通信」としてまとめたものです。3か月に1回の開催を予定している開校準備委員会本部会の開催後に発信していきます。

2 開校準備委員会本部会（第2回）の会議概要

- 日時 令和7年1月20日（月）18:15～20:00
- 場所 武蔵浦和コミュニティセンター 第8・9集会室
- 次第 教育長挨拶
 - 1. 各ワーキンググループについての報告
 - (1) 各ワーキンググループの開催状況
 - (2) 校名・移行イベントワーキンググループ
 - (3) 通学区域ワーキンググループ
 - 2. 意見交換「未来の姿」について
 - (1) スケジュール案
 - (2) アンケート調査の実施要領案
 - (3) アンケート案
 - (4) 動画の作成方針案
 - (5) 各動画のコンテンツ案

【各ワーキンググループについての報告】

○各ワーキンググループの今後のスケジュールや検討内容について報告を行い、その内容について御理解いただきました。

○校名・移行イベントワーキンググループの実施状況（校名アイデアの公募内容や選定基準等）及び意見交換の概要、今後の校名の絞り込みのプロセスについて報告を行いました。参加者から、「校名アイデアの絞り込みは多数決で決めていくのか」という質問があり、多数決ではなく、意見交換を行いながら絞り込みを行っていくことを説明し、報告について御理解いただきました。

○通学区域ワーキンググループの実施状況及び意見交換について報告を行いました。参加者から、通学区域案について範囲の確認があり、現時点の区域案の説明を行い、御理解いただきました。

3 「未来の姿」についての意見交換概要

○意見交換は、少人数でテーブルに分かれてのワークショップ形式で行いました。第1回の本部会の意見交換にもとづき、本義務教育学校を「どんな学校にしていきたいのか」という『未来の姿』を共通認識として持つことが重要であるとの考えのもと、関係者の皆様を対象とするアンケート調査案を用いながら意見交換を行いました。

○事務局から、『未来の姿』のアンケート調査の実施の際には、3つの動画を参考として見ながら回答できるよう工夫していることを示し、その動画についての意見交換が行われました。動画の1つ目は、「歴史編」とし、地域や学校の歴史をひも解く内容となっています。動画の2つ目は「義務教育学校編」とし、義務教育学校とはどのようなものか、制度や他自治体の先行事例を紹介しながら、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の紹介を行う内容です。動画の3つ目は、「これからの学び編」とし、新しい義務教育学校の設置によって地域の学びがどのように変わっていくのか紹介する内容となっています。（※1）



- ※1) 今回の意見交換を踏まえながら、公開用動画を作成しています。
- ※2) 内容中学校・浦和別所小学校・西浦和小学校・辻小学校・沼影小学校・浦和大里小学校の6校



○参加者からは、「歴史編」は、私たちの学校という意識がすごく高まる。「義務教育学校編」は、文字での説明を減らし、イメージが膨らむようなアプローチが必要ではないか。「これからの学び編」については、学校への出入りが、より自由になる印象を受けてしまうため、地域と学校の関係の表し方について、再考した方が良い。といった意見交換がなされました。

【学識経験者からのコメント（概要）】

○アンケート調査によって、新しい学校の拠り所となるイメージがたくさん出てくるとよいですね。「どんな学校ができるだろう」と考えるためには、関係学校（※2）の特色を知ることが大切で、説明動画の中には各学校の特色を紹介するものがあると良いと考えています。○本アンケートの回答は、目指す子ども像や目指す大人の学びの像、学校の機能を指すもの、そこで働く教師の姿や保護者同士の交流の在り方など、広く概念として出てくると思います。今後の開校準備委員会での意見交換にあたっては、それらを整理し、カテゴライズして提示していくことが重要と考えています。

